学校ＨＰの
「学校報さくら台」
のページはこちら

さくら台

学　校　報
第５５４号
R8. 9. 29
五城目小学校
文責:校長 伊藤 久

学校ＨＰの
「学校生活の写真」
のページはこちら

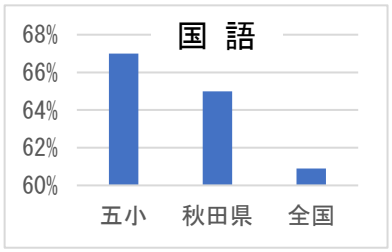
学校教育目標	夢高く　心たくましく　学び合う五小の子 ～　つなぐ　ひらく　つくる　～

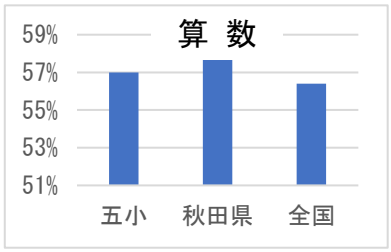
【学校報に掲載している行事等の写真については、右上の二次元コードから学校ＨＰでご覧ください】

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします



４月 23 日（木）に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。本調査は６年生を対象に、国語・算数の２教科を紙媒体での解答、質問調査をタブレットのオンラインで実施しました。平均正答率については県平均比較では国語は２％上回り、算数は１％下回りました。また、全国平均比較では２教科とも上回っている状況です。※以下のグラフをご参照ください。







以下、学習指導要領の内容や領域、区分に基づく成果と課題として、県又は国の平均から±５％以上のものを示しています。今回の結果の要因を分析し、改善につなげていきたいと思います。

【成果】国語：「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して、国の平均を 10%以上上回っています。
　　算数：「データの活用」に関して、県の平均を５％以上、国の平均を 10%以上上回っています。
【課題】算数：「測定」に関して、県及び国の平均を５％以上下回っています。

～　児童質問調査から　～

①以下、**肯定的回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）の割合が 100%の項目**です。
　・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う　・人の役に立つ人間になりたいと思う。
②以下、**県又は全国の割合と比較し、いずれかで本校の肯定的回答が 5%以上上回っている項目**です。

質問事項	本校%	県比較%	国比較%
５年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	87.2	＋7.5	＋13.8
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することはできている。	92.3	＋8.8	＋12.9
友達関係に満足している。	97.5	＋5.5	＋7.4
地域や社会をよくするために何かしてみたい	87.2	＋0.3	＋7.1
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。	87.2	＋0.9	＋6.4
５年生までに受けた授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。	87.2	＋0.1	＋6.4
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	84.6	＋0.3	＋6.2
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	97.4	＋3.7	＋6.0
将来の夢や目標をもっている。	87.1	＋0.5	＋5.3
先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	92.3	＋1.9	＋5.0

③以下、今回の新しい質問に対し、**本校児童が「ほぼ毎日」と回答した割合**と県及び国比較です。
この結果から、家庭での話合いの割合が県及び国に比較してかなり高いことが分かります。

質問事項（今回新たに出された質問）	本校%	県比較%	国比較%
学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	53.8	＋10.6	＋13.2
学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	30.8	＋18.2	＋16.1

第１回児童アンケート・保護者アンケートの結果をお知らせします

７月に実施した第１回児童アンケート及び保護者アンケートの結果をお知らせします。本アンケートは、児童及び保護者間で表現は多少異なるものの、基本的には対応する内容となっております。今回の結果を受け、学校としての成果と課題を精査しながら、よりよい教育活動の実践に向けて取り組んでいきたいと思います。お忙しい中、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

※項目は本校の３つの「めざす子どもの姿」で構成しています。※21～24：「学校全体について」
1～6：「かがやく子～夢につながる主体的な学び」、7～13：「やさしい子～夢に向かって磨く豊かな心」、14～20：「明るく元気な子～夢を支える健やかな体」

※下表の右の数値は肯定的回答（そう思う、まあまあそう思う）の割合（%）です。【上段：児童、下段：保護者】

	児童アンケート及び保護者アンケートの項目	%
1	（児　童）学校では、めあてをもち、進んで勉強しています。	90.8
	［保護者］自分の子どもはめあてをもち、自分らしく進んで学ぼうとしている。	81.7
2	（児　童）おうちでの勉強時間は、（学年の数×10＋10 分）くらいか、それ以上です。	84.2
	［保護者］自分の子どもは、家庭学習の時間が定着してきている（学年×10＋α分）	71.0
3	（児　童）学校で勉強したことが、よく分かっています。	88.8
	［保護者］自分の子どもは、学校で学習した内容を分かっている。	88.8
4	（児　童）私は、授業中、自分の考えたことを進んで発表している。	80.6
5	（児　童）先生たちは、私たちのことを考え、勉強を一生懸命教えてくれている。	93.4
	［保護者］学校では、子どもに寄り添い、熱意をもって学習指導をしている。	91.7
6	（児　童）先生たちに、質問や相談をしやすい。	86.7
	［保護者］学校は、授業や諸活動で一人一人が活躍する場や他者から認められる場を設けようとしている。	89.9
7	（児　童）学校での毎日の生活は、楽しいです。	90.8
	［保護者］自分の子どもは、学校での毎日が楽しいと感じている。	91.7
8	（児　童）私にはよいところがあり、それを更に伸ばそうとしています。	83.2
	［保護者］自分の子どもは、自分のよさを自覚し、進んで伸ばそうとしている。	75.1
9	（児　童）学校では友達と仲良くして、生活しています。	93.9
	［保護者］自分の子どもは、友達との関わりを大切にして学校生活を送っている。	94.1
10	（児　童）私は、近所や地域の人に進んであいさつをしたり、礼儀正しい言葉遣いで話したりしています。	95.9
	［保護者］自分の子どもは、近所の人や地域の人たちに対して、自分から進んであいさつをしたり礼儀正しい言葉遣いで話したりしている。	72.8
11	（児　童）私は、ああなりたい、こんなことをしたいという将来の夢や目標をもっています。	87.8
	［保護者］自分の子どもは、将来の夢や目標をもっている。	63.9
12	（児　童）先生たちは、夢（めあて）をもたせ、私のよいところを認めてくれています。	90.3
	［保護者］学校では、子どもに夢（めあて）をもたせ、子どものよさを伸ばそうとしている。	75.7
13	（児　童）先生たちは、私たちのことを考え、よりよい生活の仕方を教えてくれています。	94.4
	［保護者］学校は、日常の共感的な触れ合いを通して、子どもの変化を捉えようとしている。	82.8
14	（児　童）私は早起きをしています。	81.6
	［保護者］自分の子どもは、早起きをしている。	79.3
15	（児　童）私は毎朝、朝食を食べています。	91.3
	［保護者］自分の子どもは毎朝、朝食を食べている。	95.3
16	（児　童）私は、早寝をしています。	69.4
	［保護者］自分の子どもは、早寝をしている。	72.8
17	（児　童）私は明るく元気にあいさつをがんばっています。	92.3
	［保護者］自分の子どもは、元気なあいさつをしている。	69.8
18	（児　童）私は元気に遊んだり、運動に親しんだりしています。	92.9
	［保護者］自分の子どもは、元気に遊んだり運動に親しんだりしている。	89.3
19	（児　童）家では、テレビを見たり、ゲーム・ネットをしたりするときに約束を決めています。	77.6
	［保護者］家庭では、子どものテレビ・ゲーム・ネット等の視聴や利用について約束を設けている。	84.6
20	（児　童）私は、家でテレビを見たりゲーム・ネットをしたりする約束を守っています。	80.6
	［保護者］自分の子どもは、そうした約束（No.19 の約束）をよく守っている。	64.5

21	［保護者］学校行事や学年・学級での様々な教育活動から、教育目標「夢高く　心たくましく　学び合う五小の子」を目指し、学校全体で努力していこうとする姿勢（意気込み）が感じられる。	88.8
22	［保護者］学校は、学校報や学年・学級通信・各種通信で子どもたちの活動や教師の思い、学校の方針等を定期的に伝えている。	94.1
23	［保護者］学校は、教育活動や子どもたちの安全等において、地域の教育力を活用したり地域と連携したりしている。	94.1
24	［保護者］学校は、教室や校舎内外の環境整備に努めている。	98.2

～ 自由記述欄からいくつかについて回答させていただきます ～

保護者の皆様から多くのご意見や本校の取組に対する評価をいただきありがとうございました。その中で、各学年部や各部署で対応が必要なことについては、既に個々のケースに合わせて改善策等を検討し対応を進めております。以下は、全体に関わるご意見やご要望に関しての回答になります。なお、文末表現は敬体（です、ます等）に統一しておりますことをご了承願います。また、その他、ご意見やご質問等ございましたら、電話やメール（学校ＨＰの「お問い合わせはこちら」）等で随時お寄せください。　　**「○」はご意見・ご要望です。　「→」は学校の回答です。**

【校舎の活用について】

○小学校の校舎の自由度を生かした授業がされる機会が徐々に減ってきたと感じています。主体性や自主性を重んじる教育活動ができる校舎として建てられたはずですが、教室で先生と対面で授業する様子が増えて、子どもたちの興味を持続させる工夫や気分を変える取組などが減ってきていると思います。

→保護者の方の印象として同じように感じていらっしゃる方が一定数いるということを認識し、今後の改善につなげていきたいと思います。多様な学びの空間を活用した新たな学習空間づくりへの挑戦は本校だからこその重点課題であると捉えています。また、「五城目町教育の指針」でも「対面型、講義型学習 100%からの脱却」を重点実践事項の１つに掲げ、校舎の豊かな学習空間を生かした授業の展開を促しています。

実際のところ本校の現状としましては、いわゆる「対面型、講義型」以外の学習形態の割合は増えてきており、全体的に見ますとワークホールや階段教室の授業での使用率は高まっているという状況です。現時点では、教室とワークホールなどの空間を一体として捉え、新たな活用方法を模索している段階になります。また、今のところはどちらかと言えば教師が授業の「ねらい」達成につなげるために、子どもたちに意図的に空間を使わせるという場面が多い状況です。今後はそうした使い方とともに、子どもたちが活動の中で自主的に空間を選択して使い、それが結果的に授業の「ねらい」達成につながるような状況が生まれてくることも合わせて考えていきたいと思います。

なお、「対面型、講義型学習」については、それ自体は必要なものと捉えています。また、「対面型、講義型学習からの 100%脱却」ということを目指しているものでもありません。本校としては、あくまでも各授業の「ねらい」達成に向けて学習形態や学習方法を工夫しながら、ワークホールや階段教室等を含めた校舎全体の空間の活用について実践を積み重ねていきたいと考えております。

【運動会の場所取りについて】

○運動会の場所取りについて、最前列の方がキャンピングチェアなどを使用すると後ろの人の邪魔になっています。ここ数年、そのような人が増えてきています。椅子使用可能エリアなど、制限を設けた方がよいと思います。

→本校としては、折角いらしていただいた皆様に、できるだけよい状況で子どもたちの活躍や活動の様子をご覧いただきたいと願っております。ただ、大変限られたスペースでのご観覧となりますので、ご指摘いただいた件につきまして、本校としましても最前列の方のキャンピングチェア等のご使用は控えていただけると大変助かります。なお、この件につきましては申し送り事項とし、来年度の運動会の案内文書において、皆様にご協力いただけるように文面を加えたいと思います。また、椅子使用可能エリアにつきましては、今後の検討事項とさせていただきたいと思います。

他方、当日の早朝、運営テントの設営箇所に場所取りをなさり、大変恐縮ながら本校職員がお荷

物等を一旦寄せざるを得ないという状況が起きておりました。こうした状況を避けるため、来年度以降は事前にテントエリアの目印を付けるようにいたしますので、そのエリアをご確認くださるようお願いいたします。この件につきましても来年度の運動会の案内文書に付け加えたいと思います。

【学習発表会の番楽について】

〇学習発表会の番楽ですが、毎年その年の学年の味が違うので見ていてよいのですが、学習発表会で毎年やらなくてもよいのではと思います。伝統を受け継ぎ、よい学びになると思うので、番楽の発表は学年の参観日にできるとよいと思います。

→学習発表会で毎年３年生が披露している番楽については、旧校舎での発表以来、長年に渡り継続してきております。この背景には、３年次における、自分たちの住む地域の伝統や文化等についての学習があり、この機会に本町の伝統芸能の一つである山内番楽について学びを深めるというねらいのもとに取り組んでおります。

本校の学習発表会で「３年生と言えば番楽」ということは定着しつつあることかと思いますが、ご指摘にあるように、「学習発表会での番楽以外の発表」及び「学習発表会以外での番楽発表」という件につきましては時間をかけて検討する必要があるため、今後の課題とさせていただきます。

なお、授業参観日での番楽発表の可能性につきましては、現時点では非常に難しいと考えております。理由としましては、本校のＰＴＡ授業参観が４月、７月、12 月、２月であり、練習や準備期間、学習進度等の関係でいずれの時期も難しい状況です。また、伝統芸能の学習に関しては、何よりもご指導くださる先生方のご都合にもよるため、本校として関係者の皆様と連携を図りながら今後の方向性を検討してまいります。この件につきましては、時期を改めて再度ご報告申し上げます。

【五小っ子学習会について】

〇五小っ子学習会の時間をもう少し長くしてほしいです。（12 時頃までの３時間目まで等）

→いただいたご意見を、主催する町教育委員会生涯学習課にもお伝えいたします。五小っ子学習会は４・５・６年生が対象で、１時間目が９：００～９：５５、２時間目が１０：０５～１１：００で、全体で２時間の実施としております。学習会は本校児童のために行っていただいているものですので、本校としても生涯学習課と連携しながら、よりよい学習会となるよう協議を行っていきたいと考えております。学習会の講師の先生のご都合等にも関わってくるとは思いますが、時間の延長が可能かどうかも含めて、協議結果につきましては時期を改めてご報告申し上げます。

【子どもたちの外遊びについて】

〇外で遊ぶ機会が本当に少ないせいか、体力がない子どもも多い印象です。自転車で移動できる行動範囲のルールも狭く設定されていて、日常から外で遊ぶ習慣がないからか、放課後に外には子どもがほとんどおらず、そのような地域も珍しいと思っています。熊の出没の懸念もありますが、校庭や雀館公園の利用促進と外の子どもの居場所の確保を町教育委員会や町役場も含めて実施してもらいたいと思っています。

→外で遊ぶ機会につきましては、度々話題に上がることでもあり、今後、関係機関との連携も含めて進めてまいります。この場では、現時点での取組を以下に整理してお伝えしたいと思います。

まず、外で遊ぶ機会について、「子どもたちが在校中に外で遊ぶ機会」ということについてお伝えします。子どもたちが在校中に外で遊ぶ機会としては、体育の授業のほか昼休みがあります。熱中症警戒アラートが発表されていたり悪天候や特別な事情があったりするとき以外は外で遊ぶことができます。また、体育科を中心に、児童の体力つくりのための様々な取組を行い、子どもたちへの呼び掛けや啓発も行っております。

次に、自転車で移動できる距離についてです。「夏休みのくらし」には、「自転車に乗れる範囲をおうちの人と確認してから乗りましょう。」とした上で、「たとえば、１・２年生が家の周り、３・４年生が自分の町内、５・６年生が自分の住んでいる学区内」としております。この範囲について

はあくまでも例として示したもので、学校として明確に範囲を設定しているものではございません。誤解を招く表記であったことをお詫び申し上げますとともに、表記について改善いたします。最終的には各ご家庭の判断で決めていただき、それを児童と確認していただければと思います。

最後に、校庭や雀館公園の利用促進と外の子どもの居場所の確保についてです。こちらについてはご指摘いただいたことを課題と捉え、町教育委員会とも協議を行っていきたいと考えております。理想的には、本校周辺も含めた豊かな教育環境の中で、放課後に子どもたちが思いきり走り回ったり遊んだりする光景が日常的にあるような状態かと思います。なお、現時点において、校舎周辺の放課後の子どもたちの活動場所について、特に学校側で制限しているといったことはございませんので、安全に気を付けながら今ある環境を活用していただければと思います。

【通信の写真等について】　※学校報、学年・学級通信、各種通信に関する項目でいただいたご意見です。

〇写真が白黒で見づらいため、少し工夫が必要だと思います。

→ご指摘を受け、改善策も含めて以下、お伝えいたします。まず、通信等につきましては、コストの面から、この先もカラー印刷ではなく白黒印刷のものを配付させていただきます。そのため、印刷された写真がこれまで同様に見づらいこともあるかと思いますが、何卒ご了解いただきたいと思います。その上で、学年・学級通信についてはカラーでもご覧いただけるように、当該学年の保護者の皆様にテトルで送信いたします。なお、学校報につきましては、これまで同様、学校ホームページにカラー版を掲載いたします。また、テトルで見られるなら印刷した通信は不要というご意見もおありかと思いますが、本校としては、「子どもたちが配付物を受け取って確認し、それを持ち帰って保護者の方にきちんと手渡す」ことも身に付けたい大事な習慣だと考えておりますので、これまでどおりの配付へのご理解もよろしくお願いいたします。

【プール授業時の水筒について】

〇プール授業の時は、水筒をプールへ持っていけるようにしてほしいです。

→この件につきましては、常に水筒をプールへ持っていくように改善しておりますことをご報告いたします。なお、これまでについては「水筒を持っていってもよい」ということにしておりましたので、結果的に水筒の持参についてはまちまちでした。水分補給の必要性も踏まえ、全員が水筒を持っていくことを今後も徹底したいと思います。

【すずむしとの連携について】

〇すずむし（放課後児童施設）と学校の連携にも努めてほしいです。

→現在、放課後児童施設すずむしと本校間におきまして、定期的に情報交換や意見交換の機会を設定し、相互連携に取り組んでいるところです。すずむし施設内での児童の様子を教えていただくとともに、学校での児童の様子などもお伝えしながら、互いの理解が深まるように努めております。また、特に共有すべきことがある場合には、その都度、情報交換をするようにしております。すずむしは本校の多くの児童が利用していることから、今後もより一層の連携強化に向けて取り組んでいきたいと思います。

【教育留学について】

〇教育留学の親子さんの移動の安全確保（熊や悪天候）に対する対策が、現場や来た親子さん任せになっており心配なことが多数あります。町と強く連携し、危険のないように対応をお願いします。

→教育留学生と親御さんへの連絡につきましては、登校初日の朝に行う打合せの場において、教育留学生と親御さん、学校及び町教育委員会の担当者との間で確認をしております。しかしながら、ご指摘いただいたように、結果的に安全面でご心配をおかけしてしまい大変申し訳ございませんでした。本校としましては、教育留学生と親御さんの滞在中の安全面に関する点や集団登校の実施の有無の連絡方法等について、今一度改めて確認するようにいたします。

授業研究会で子どもたちの学習の様子を提示しました

16 日（水）、教科等訪問を行いました。この訪問は教育事務所が行う「計画訪問」に位置付けられており、指導者の先生が来校して授業を参観した上で指導や助言をいただくものです。今回は２時間目に一般授業として全ての学級を、３時間目に特定授業として６年１組の社会の授業を提示しました。子どもたちが元気よく活動する様子やじっくりと考えを深めている様子、友達とペアやグループになって対話をしながら考えをまとめていく様子など、様々な場面を通して子どもたちが学びを深めている姿を見ることができました。



また、今回初めての試みとして、６年１組の授業の際に他クラスの子どもたちが授業を参観する機会を設け、５年生から４名、６年２組から３名の計７名が先生方に交じって授業を参観しました。皆、始めから終わりまで真剣な表情で参観し、盛んにメモを取っていました。以下に参観した子どもたちのメモや感想の一部を紹介します。

〇資料を読み取るのが上手だなと思った。自分たちも参考にしたい。
〇先生や友達が発表や発言をしたら、相づちを打ちながら聞いていて分かりやすかった。
〇自分たちでまとめを考えていたのがすごいと思った。
〇グループの話合いのとき、人の意見に反応しながら考えていた。
〇みんなで協力するときは協力し、自分の力でやるときは静かに書いているところがすごかった。
〇資料をよく読んで、詳しく書いていた。グループのときはみんなで意見を出していた。
〇みんなで協力しながら、自分の意見を伝え合ったり相談し合ったりしていた。
〇自分の意見を進んで発表していた。前の勉強を振り返りながら考えていた。
〇自分の力で進めるところは黙々と取り組んでいて、さすが６年生だと思った。



今回、他クラスの授業参観を通して、子どもたちが多くのことを感じたり考えたりした様子がうかがえます。中には、「人が説明しているときは、ノートに書かずに聞く方がよいと思った。」という感想もありました。客観的に授業を見ることによって感じたこうした気付きを、ぜひこれからの行動に取り入れていってほしいと思います。

全校縦割りなかよし集会　大成功！

25 日（金）、「全校縦割りなかよし集会」を開催しました。昨年度までの「全校ウォークラリー」から、今年度は子どもたちの発案及び企画によるなかよしゲーム体験に変更し、全 20 班のうち 10 班ずつ、前半と後半にそれぞれお世話をする側とゲームをする側に分かれて活動しました。子どもたちはたくさんのゲーム体験を通して班員同士の仲を更に深めた様子でした。

今回の企画では、低学年も含めた全員が「体験する側」と「体験してもらう側」の両方の体験をすることができました。特に後者において、人に楽しんでもらえるようにお世話することの喜びや面白さとともに、難しさや改善点なども学んだようでした。地域の行事なども含めてどちらかと言えば参加者としての立場の多い子どもたちですが、今回、参画者としての立場も同時に体験できた意義は大きいと感じます。また、当日は地域ボランティアの方々に子どもたちの活動の見守りをしていただいたおかげで、全ての活動を安全に行うことができました。この後も地域の皆様との関わりを大切にしながら、子どもたちが様々な形で活躍できる機会をつくっていきたいと思います。



～空き缶つみ～



～わりばし落とし～



～ジャンボわなげ～



～もらいっこドッジ～

「バンバンとトラ」を鑑賞しました

８日（火）、劇団風の子九州の皆さんによる「バンバンとトラ～トラになった少年の物語～」を鑑賞しました。子どもたちは演劇と影絵が融合されたユニークな表現技法とともに、環境破壊により絶滅の危機に瀕する野生動物たちの現状と、それに密接に関わる私たち人間の生き方はどうあるべきかという、劇の根底に流れるメッセージにも惹き付けられた様子でした。



３年生が「山ゆり」を訪問しました

３日（木）、３年生が農事組合法人「山ゆり」を訪問しました。時折雨の降る中ではありましたが、外の畑で機械を使って収穫する様子や、施設内で枝豆を選別する様子などを見学させていただきました。子どもたちも積極的に質問し、枝豆について多くのことを学んだ様子で、これからどのように新聞にまとめていくかとても楽しみです。



「防災」について深く学びました

９日（水）、ハピネッツ防災教室を開催しました。２時間目は４・５年生を対象に「持続可能な秋田県へ～自然災害について学ぼう～」というテーマで、SDGs と防災を関連させながら一通りの知識の確認を行いました。３・４時間目は体育館に「地震計」、「地すべり」、「液状化現象」、「災害廃棄物」の４つのブースを設置し、５年生が班ごとにローテーションしながら体験を行いました。



今回の講師は地質調査を専門とする方々で、この日のために様々な装置や機材を手作りで準備してくださいました。ブースを４つも設けて実施するのは今回が初めてとのことで、それだけも大変よい機会になったことが分かります。さらに、ただ体験するだけではなく、どうなるかを先に子どもたちに予想させた上で実際に装置や体を動かして検証してみるという流れも深い学びにつながっていたと感じました。子どもたちには、今回の貴重な体験をぜひ日頃の学びに関連させる発想をもって学習に取り組んでほしいと思います。



避難の経路を確認しました

４日（金）、水害を想定した避難訓練を行い、全校児童が広域体育館の観覧席まで避難しました。今回は避難後に、町住民生活課の草皆さんから全校児童に向けて、災害に対する町としての取組や各家庭に配付されている防災マップについてのお話をいただきました。今後も関係機関と連携を図りながら、防災の取組の強化に努めていきたいと思います。



クマ対策学習会を開催しました

17 日（木）、「クマ対策学習会」を開催し、講師の先生からクマの食べものや足の速さ、体の特徴などを説明いただいたほか、クマに遭遇した際の対応方法について実演を交えながら教えていただきました。今後、収穫の秋を迎えてクマの目撃情報が増える可能性があることから、油断することなくクマ対策を講じていきたいと考えております。



２年生が雀館散策を楽しみました

18 日（金）、２年生がみんなの学校（学校連携）の「雀館散策」を行いました。今回は校舎前の相撲場周辺で講師の先生が提示した植物を子どもたちが探して回りました。いつも目にしている植物の特徴や生長などについて分かりやすく教えていただいたほか、子どもたちからもたくさん質問が出され、充実した時間となりました。



～主な行事予定～



1	木	５年稲刈り（兼親子レク）
6	火	３年校外学習（アトリオン・博物館）
7	水	あおぞら相談員鳥井先生来校日
8	木	【全校４校時限】就学時健診（午後） 図書修理ボランティア来校（9:30）
9	金	【全校５校時限】１学期終業式
13	火	子ども議会（午前、役場）※五小児童４名参加
15	木	２学期始業日 ※「式」は行いません
20	火	【全校５校時限】職員研修会 あおぞら相談員鳥井先生来校日
21	水	お話ポシェット、クラブ最終日 地域ボランティア感謝集会
28	水	学習発表会予行 ※園児参観
30	金	【６年６校時限、他学年５校時限】
31	土	【全校４校時限】学習発表会、給食なし
11/2	月	通常の授業日です。※振替休業は 11/6（金）